

## 第6回 TLA 会合レポート

第6回 TLA 会合を、1月13日(木)に柿傳 安与ホールにて開催しました。

前半40分では、会合会場と同ビル内にある柿傳ギャラリーと茶室の視察を行いました。安田尚志様(柿傳ギャラリー代表)より、欧米富裕層受入れ事例を交えながら説明をしていただきました。視察終了後は、メンバー同士で「リアル施策の解禁状況」をメインテーマとしてディスカッションを行いました。会合終了後に希望メンバーは、懐石レストランとサロンの見学も行いました。

### 【視察時の様子】



### 【メンバー・ディスカッション、メインテーマ「リアル施策の解禁状況」について】

#### ・椿山荘 竹内様

現在、当ホテルではインバウンドスタッフが大幅に減少しほとんどインバウンド案件もない状況が続いています。

国内の案件が8割程度で、国外とコミュニケーションがあるのは、商談会に参加する程度です。皆様にご提供できる有益な活動情報としては、ホテルの中に再生医療を行うクリニックを開業したことです。脂肪から細胞を採取し、培養・増殖後に元に戻すことで、体の中から若返るという再生医療等を行うクリニックです。

日本国内のお客様もいますが、海外からも多数(特に中華圏)いらっしゃるため、当ホテルと連携し、クリニックへお越しになるときはホテルに泊まってもらうような形にしています。コロナ禍でも治療のために、医療ビザを取得して来日する方がいらっしゃる状況です。医療ビザの場合は、空港でのPCR検査は行いますが、その後は隔離期間なしでホテルへ移動し、クリニックで治療を行います。再生医療は、1回目と2回目の間隔が1週間ほど必要になるため、長期滞在する外国人を受け入れることができる数少ない事例の一つです。コロナが終息した後も、受け入れていきたいコンテンツとして考えています。

N2 クリニック：<https://n2clinic-chinzanso.com/flow/index.html>

#### ・松乃鮎 神森様

当社では、国外富裕層はもちろんの事、対国内富裕層も展開をしています。

対国内でいうと、ラグジュアリーブランドのイベントはコロナ禍でも比較的早いタイミングから再開している印象を受けています。銀行・金融不動産系はまだ再開していないかなと思います。そんな中でも徐々にオンラインからスタートして、夏以降はその時の感染状況を見つつ、リアル開催を交えたハイブリッド形式もしており、規模を少しずつ増やしていこうという傾向が見受けられます。

外資ホテルさんのインバウンド向けの文化体験プログラム・ツアーの造成をお手伝いしていますが、受け入れの目処が立っていません。逆にそれにより現場に余裕が生まれたため、お客様により明確なご案内がしやすくなるようコンシェルジュの方などに実際に体験していただいています。また、その企画は、インバウンドだけではなく国内の方向けにも提供できるようにしていきたいと考えています。

国内ホテルの企画ですと、ホテルニューオータニさんがお正月に大きめのイベントを実施しました。大きな宴会場をお持ちですので、イベント会場は十分な感染症対策と、宿泊部屋はお正月用の特設プランを準備し、安心安全に宿泊・チェックアウトまでできるように対応をしていました。3世代でいらっしゃっている家族もいましたので、高齢なご家族を連れている宿泊者には、リアルイベントをお部屋でライブ配信を行う等のフォローもしていました。

ホテルニューオータニお正月プラン：<https://www.newotani.co.jp/tokyo/newyear/>

#### ・松乃鮨 手塚様

弊社で行っている事業の中で、鮨屋、インバウンド、イベントはコロナ禍で全滅。

唯一稼働しているものとしては、コンサル事業があります。地方の観光アドバイザーを行っており、観光コンテンツを発掘や食のプロとしての立場から紹介するというものです。

コロナ禍を通して、今までは仕事をこなすことで精いっぱいだったところを、時間や体力にゆとりを持ったことで、横のつながりとして、インバウンド業界の方や協会観光協会の方と交流を深めたり、情報交換することができたのがよかったです。コロナ禍が明けたら、観光・ラグジュアリー業界を離れた方々も戻ってくると思うので、そこがまさにインバウンド元年になると考えています。そうなったときに今までとは違った、食に関する案内をどうやって差別化できるかを考えています。

#### ・クリルプリヴェ 高野様

現在、観光の仕事はほぼ止まっています。

弊社では、アウトバウンド事業も行っておりますが、帰国した際の手続きがかなり大変です。状況としては、観光庁様からお声がけしてもらい、コロナ禍で業界から去る方が増えているため、どのような支援をしたらいいかについて話し合ったり、ホテル誘致などを行っております。東京都さんよりお声がけいただき、美術館で行われたプロジェクションマッピングの世界大会とそれにかかわる誘致と光の祭典のお手伝いをさせていただきました。他都市では10年前にシドニーで開催した際は動員者数10万人だったのが、2019年では200万人集まるような都市全体で盛り上げるイベントにまで成長している実績がありますので、東京都としてもそこを目指していきたいようです。

TOKYO LIGHTS：<https://tokyolights.jp/2021/11/12/tokyolights/>

・森ビル 佐々様

私たちは、六本木・表参道・虎ノ門ヒルズの運営をさせていただいております。その中には商業系以外にも展望台や美術館など様々な施設があります。その中でも美術館コンテンツが富裕層には好評をいただいています。コロナ前は、たくさんの方に来て楽しんでいただいておりますが、この状況になってからは皆さんなかなか来れていない状況です。森美術館は美術館にしては珍しく、以前より SNS 配信の強化をしていました。コロナ禍になってからは、館長によるインスタライブを行ったりしましたが、非常に好評でした。そのため、実際に訪日再開してもこの取り組みは続けようと考えています。2023年に東京タワーのふもとに新しい施設をオープンする準備を進めています。施設テーマとしては、グリーンアンドウェルネスとしていて、グリーンはSDGsを意識しており、ウェルネスは医療の観点から慶應病院にある予防医療センターがその施設に移転する予定です。この新しい取り組みについて、今後は社をあげて進めていく形になりますが、同時並行でラグジュアリー方面の方々へも情報発信も行い、たくさんの方に興味を持ってもらえるように準備をしています。

森美術館インスタライブ：[森美術館インスタ LIVE 続々配信！Clubhouse と TikTok もはじめました | 森美術館 - MORI ART MUSEUM](#)

・ホテル雅叙園東京 小沼様

当ホテルのこの1年間の取り組みとして、目黒界隈を開拓しようということで、当ホテルのそばを流れている目黒川が桜の名所なので、ウォーキングコースをスタッフが実際に歩き、60分間のツアーコースを作りました。2021年3月実際に宿泊者向けに開催し、今年も約2か月後の桜開花の時期に行う予定です。他にも中日黒、自由が丘エリアの開拓をしました。商店街の方々に協力いただきスイーツマップを作成し、宿泊者が対象店でフロントキーを見せると特典を受けられる仕組みです。宿泊者にホテル近隣エリアを楽しみながら、開拓してもらえるような取り組みに力をいれてまいりました。他には、館内のアートを説明できるスタッフの数を増やすために研修を行いました。コロナ前は新卒が50人、今年は55人が入社しましたが、そのスタッフたちもすでにその研修を始めています。また、今まで客室にあるミニバーでは、ビーフジャーキーなど外国人にウケるものを置いていたのですが、その見直しを行い、かりんとう・おせんべい・和風チョコレート等すべてメイドインジャパンのお菓子を置くことにしました。冷蔵庫の飲み物もすべて日本の飲み物に変えました。

名物の百段階段、以前は1日1000人入場者がいましたが、今は200人に絞っています。その方が逆にゆっくり見ることができるということで高評価をいただいています。

年に一回のイベントで、京都より芸妓さん舞妓さん20名をお呼びして、一夜限りのイベントを開催いたします。インバウンドのお客様がいれば、東京で京都の舞妓さんたちを見られる場所として面白い企画なのではと考えています。

京おどり～宮川町の世界～：<https://www.hotelgajoen-tokyo.com/archives/32196>

・The Capitol Hotel Tokyu 柳様

本業のホテル宿泊では、インバウンドはなかなか問い合わせない状況が続いています。商談会という面では、Connections Tokyo、Connections Londonに参加させていただきました。他には、我々が加入しているSERANDIANS関連の商談会がある際には、必ず参加させていただき、バーチャルで現地のエージェント方とコネクションをはかりました。

我々の知名度は海外では高くないため、そういったコンソーシアムの中でブログやメルマガでホテル情報のアップデートを定期的に行い、配信することで知名度向上を目指して活動しました。その他の取り組みとしては、国内のお客様向けにプランの作成をしています。ペット3匹と泊まれるように一部、部屋を改造しました。最近では、ペットフードイストの企業とコラボして、愛犬のご飯セミナーを受けられるようなプランも作り、大変好評なプランとなっています。5月までの限定プランですが、スペインラグジュアリーブランドのリヤドロさんとコラボし、コンセプトルーム準備しました。スイートルームにリヤドロさんのハンドメイド作品を置き、QRコードをつけて買えるようにしています。その他ですと、食の東急ということもあり、レストランが好評いただいております。そのため、ビーガンやベジタリアンのメニューをグレードアップ、幅広げたりしています。TLAメンバー大原宿さんと連携し金継ぎ体験の後に金継ぎの器を使ってバーでお酒を飲めるという連携企画も行っています。

ザ・キャピトルホテル 東急×LLADRÓ (リヤドロ)「～コラボレーション宿泊プラン」:

[https://www.rsv.tokyuhotels.co.jp/cgi-](https://www.rsv.tokyuhotels.co.jp/cgi-bin/ihonex/stay/search_category.cgi?hid=r_TC_CAPIT&search%3Ahid=r_TC_CAPIT&plan_groupcd=IBLL30&search=1&form=jp&_ga=2.10186871.393121123.1642561796-1193624811.1642561796)

[bin/ihonex/stay/search\\_category.cgi?hid=r\\_TC\\_CAPIT&search%3Ahid=r\\_TC\\_CAPIT&plan\\_groupcd=IBLL30&search=1&form=jp&\\_ga=2.10186871.393121123.1642561796-](https://www.rsv.tokyuhotels.co.jp/cgi-bin/ihonex/stay/search_category.cgi?hid=r_TC_CAPIT&search%3Ahid=r_TC_CAPIT&plan_groupcd=IBLL30&search=1&form=jp&_ga=2.10186871.393121123.1642561796-1193624811.1642561796)

[1193624811.1642561796](https://www.rsv.tokyuhotels.co.jp/cgi-bin/ihonex/stay/search_category.cgi?hid=r_TC_CAPIT&search%3Ahid=r_TC_CAPIT&plan_groupcd=IBLL30&search=1&form=jp&_ga=2.10186871.393121123.1642561796-1193624811.1642561796)

#### ・大原宿 葛西様

我々は、コンシェルジュ業務・特別プログラムなど包括的に提供をしており、その中で金継ぎ体験は、撮影も発生するため、ホテルさんの一室をお借りしたいと思っていたところ、キャピトルホテルさんが手を挙げてくれましたので、連携をさせていただきました。

プログラムとしては、都内に公式の金継ぎを行っている方をお願いをしました。金といえば、京都・金沢のイメージがあるかと思いますが、過去を遡ると、最新のテクノロジーは江戸に集結していましたので、東京もまた深く関係している技術となります。作品をお借りして、体験を行った後に、実際の金継ぎの器でキャピトルさんでお酒をいただくというプランになっています。弊社代表の大原はフランスに滞在し、エージェントの挨拶まわりを行いました。エージェントからは、日本の観光はいつ解禁になるのかという話も出てきていたとのことでした。

公式 HP : <https://oharajuku.com/ja>

#### ・Tonichi Travel Japan ラシエツテ様

インバウンド事業は、コロナ前までは今までは会社の中で注目されている部門でしたが、今後はそれだけに囚われず挑戦したいと思っています。

オンライン商談会に色々参加したりしていますが、最初はアポイントも入ったりしていましたがバイヤーさんもオンライン疲れしているように感じます。昨年後半の商談会では、アポイントを取るのみ苦戦しました。そんな中、商談できたエージェントも本来は来日し、オフラインで商談会を望んでいるという会話から、日本はまだまだ需要があるということを感じました。また、この時期だからこそFAMトリップに積極的に参加しています。せっかく観光業界に就職した新卒はいまだにインバウンドの仕事ができていない社員も多いため、FAMトリップを通して意識や知識を高めてもらうことが狙いです。参加後には、それらの情報を海外のエージェントにコツコツと配信を行っています。また、かなり多くのラグジュアリーホテルができていますので、なるべく自ら足を運んで情報収集するようにしています。季節的にも

次は、桜の時期がきますが2019年よりやり取りをさせてもらっているラグジュアリー系のお客様は、延期が続いており今年もまたオミクロン影響で翌年2023年に延期になりました。しかし、延期が続いてもなお、来日したいと言ってくくださるお客様はまだまだいるということ認識して、それをモチベーションに今後も頑張っていきたいと思っています。

公式 HP : <http://www.japan-coachman.com/>

・東京ステーションホテル 八木様

我々としてもコンテンツ造成をやらなければということで、駅舎の端から端までで335メートルある長い廊下に飾られている100点以上の鉄道・駅舎にまつわるアートワークがあります。現在はホテルが準備しているタブレットより各作品の情報が読み込めるようになっていますが、今後はQRコードを設置し、自身のデバイスで解説が見られるようにするコンテンツを計画中です。せっかく日本に来たら、日本らしいカルチャーを楽しめるように、ホテルでも和を意識したテイスト作りなどをされているかと思いますが、ご存じの通り東京駅は、西洋建築の一つで、日本の近代化の象徴で大和魂がこもったものになっています。これらのように建物にまつわるエピソードが他にもいくつかありますので、英語版のツアー案内ができるように準備を整えております。1年ほど前の話にはなりますが、バーのひとつに在籍している80歳のレジェンダリーバーテンダーがいます。彼は、20歳の時から東京ステーションホテルでバーテンダーをしており、「フォーブス・トラベルガイド」が発表した「エンプロイヤー・オブ・ザ・イヤー 2021」に選ばれました。彼が作った「東京駅」というオリジナルカクテルもまた一つのコンテンツとして楽しんでいただければと思っています。

東京ステーションホテル バーオーク : <https://www.tokystationhotel.jp/restaurants/oak/>

・うかい 木村様

弊社では、洋菓子、飲食や美術館の運営を行っています。インバウンド・接待などのタイミングでご利用いただきましたが、利用者は減少しています。コロナ影響を受けて、良かった点もいくつかありまして、今までできなかったことに挑戦できるようになりました。例えばテイクアウト・陶芸品の販売展示・アフタヌーンティー・テラスを使ったバーベキューなどをさせていただいております。今からご紹介する活動は、ラグジュアリーやインバウンドとは真逆にはなりますが、明日より東京タワーさん・フジエクスプレスさんの水陸両用バスKABA・我々うかいでタッグを組んだプロモーションを行います。我々のところでアフタヌーンティーを楽しんでいただき、そこにKABAさんが到着後そのまま乗車してお台場をまわり、東京タワーへ戻ってくるツアーとなっています。弊社では様々なコンテンツを持っていますが、移動手段がなかったのも、とてもありがたい企画となりました。TLAメンバーの皆様からもどんどんお声がけいただければ幸いです。

東京サンセットツアー :

<https://www.tokyotower.co.jp/event/attraction-event/tokyosunsettour/>

・パレスホテル東京 住吉様

弊社としては、10周年に建て替えを行いまして、その際にインバウンドのお客様向けにプレミアスイートというお部屋の販売を始めました。お手洗いがふたつあるスイートルームをようやく6室ご準備できるようになりました。宿泊開始は、2月以降ですが、売出しはすでに

開始しております。また、パレスホテルは日系ホテルですので ESSENCE OF JAPAN という企画を3月18日まで開催いたします。ここに参加する旅館はインバウンドのお客様に対してウェルカムな姿勢ですので、今後の関係性にもつなげていければと考えています。依然として状況は厳しいですが、インバウンドが復活した際には万全の状態を迎えられる準備を整えていけるよう人材面も力を入れています。

ESSENCE OF JAPAN : [Essence of Japan 日本の名旅館とのコラボレーションイベント | パレスホテル東京 \(palacehoteltokyo.com\)](https://www.palacehoteltokyo.com/essence-of-japan)

・リージェンシー・グループ（株） 沼能様

旅行会社としての観点から言うと、ハード面を持ち合わせているわけではありませんのでビジネス内容を共有できるものあまりないのが現状です。去年の9・10月は日本から海外に出る人は多かったのですが、アウトのほうが先に回復するのではないかと思います。しかし、帰国後の自主隔離などがあるので、これらがよりクリアにならないとそれも難しいと感じています。早ければ今年の4月には回復すると思っていましたが、今の状況を踏まえると早くとも7月・10月頃になるのではないかと思います。国の施策との関係で、インバウンドが本格的に回復する目途ははっきりと見えている状況ではありませんが、我々観光業界では、欧米富裕層へ日本という存在感を見せていくためにも、万全の準備体制を整えていくことが、今できる最善策なのではないかと思います。

公式 HP : [ラグジュアリートラベルならリージェンシーグループ \(regency-trvl.com\)](https://www.regency-trvl.com/)

【ディスカッション中の様子】

